

2006年2月7日  
MR/J06/06



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京渋谷区神宮前5 53 70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

## 国連大学理事会新議長決定 アフリカ大使、ナミビア独立の先駆者であるピーター・カチャビビ教授

このたびピーター・カチャビビ氏が国際連合大学理事会の新しい議長に任命された。ナミビアの大使としてベルギーと欧州連合に勤務経験を持ち、元大学教授でもある同氏は、ナミビアの人種隔離政策を終わらせ、南アフリカから独立を勝ち取るための地下活動を、30年近くにわたって導いた人物である。

ナミビア大学の元副学長であるピーター・カチャビビ大使は、このたび東京で開かれた理事会で、国連大学理事会の議長に選出された。フィンランドの国立福祉保健研究開発センターの所長であるヘルシンキのバップ・タイパレ教授の後任となる。

カチャビビ大使は2002年から国連大学理事会の理事に就任しており、また、国連大学が新しい学長の選抜時期に来ており、同氏はその過程できわめて重要な役割を果たすことになる。現学長を務めるオランダ出身のハンス・ファン・ヒンケル氏は、2006年9月で任期終了を迎える。

カチャビビ大使は64歳。十代の青年だった1959年に、首都ウィンドホーク郊外の、人種隔離政策によって作られたカトトラという町に強制移住させられた。以来、ナミビアの解放（ナミビアは第二次大戦後、南アフリカに併合されていた）に力を尽くしてきた。

1962年、高等教育を受けるため、また地下運動に参加するためナミビアを離れ、母国を離れたまま、同氏は27年間、南西アフリカ人民機構（SWAPO）の政治活動に携わり、次のような役職を歴任した。タンザニア副代表（1966 - 1968年）、SWAPO法務・経済担当長官（1960 - 1976年）、中央委員会委員（1976 - 1983年）、情報広報担当長官（1976 - 1979年）。また、国際的な機関や会議にはSWAPOの代表者として参加し、ナミビア国民の解放に貢献する結果をもたらした。

その後、同氏はオックスフォード大学へ進み、DPHIL（オックスフォード大学博士課程）を取得。“The Rise of Nationalism in Namibia and its International Dimensions”（「ナミビアにおけるナショナリズムの台頭とその国際的重要性」というタイトルの論文を書き上げている。

1990年のナミビア独立直後からは、国会議員となり、のち高等教育担当の大統領補佐官となる。また1992年にはナミビア大学の初代副学長となり、旧アカデミーを新しい大学に移行させるのに大きな役割を果たした。

今回国連大学の理事長に任命されたことについて、カチャビビ大使は喜びを表し、自分個人だけではなく、ナミビアそしてアフリカにとっても名誉なことだと述べた。

<裏面に続く>

MEDIA ADVISORY

カチャビビ氏は次のように語っている。「国連大学は、政策関連、知識、グローバル化、平和、安全保障といった重要な分野で、国連のシンクタンクとしての働きをしています。このことに関して、私は特に国連大学が平和と安全保障分野の研究で、国連システムに大きな貢献をしていることを嬉しく思っています。ごく最近では、国連事務総長および脅威、課題と変革に関するハイレベル委員会に、国連改革の勧告の土台となる文書を提出したことは特筆すべきことです」。

国連大学理事会は年1回理事会を開き、東京を本部とする国連大学の活動や運営を規定する原則・方針を策定する。理事会の任務は数多くあるが、中でも、世界各地の国連大学のセンターやプログラムを通じて行われる研究や研修を監督し、大学の予算を承認することが特に重要な任務となっている。

取材ご希望の方は、国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-3499-2811、03-5467-1311、FAX: 03-3406-7346; e-mail: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu)）までご連絡ください。

### **国連大学とは**

国連大学は、人類の平和と発展という国連の目的に学術面で寄与する国際的学術機関です。1972年の国連総会で設立が決議され、1975年9月に活動を開始しました。「大学」という名称ですが、一般的な意味での大学とは異なり、国連大学の使命とは、国連とその加盟国および国民が関心を寄せる緊急かつ地球規模の問題解決の努力に学術研究と能力育成をもって寄与することです。東京の本部のほか世界各地にある直属の研究・研修機関や既存の大学、研究機関、研究者などとの国際的ネットワークにより活動しています